

CARE MANE PORT

京都

ケアマネ・ポート

CONTENTS

- 2 会長就任のご挨拶
- 3 役員紹介
- 6 総会報告
- 8 部会報告
- 10 おしらせ
- 12 編集後記

VOL.
18

August
2004

会長就任のご挨拶

会 長 上原 春男



介護保険制度は施行後5年を目途に制度の見直しが現在行われております。

この改訂にむけ介護の現場からの意見を国に届けるべく、昨年全国介護支援専門員連絡協議会が発足、今回は全国の介護支援専門員の意見を集約した、七つの提言を厚生労働省、社会保障審議会、介護保険部会に提出しております。京都府介護支援専門員協議会としては、全国の介護支援専門員の声を政府に届ける組織としてこの会の発展に協力してゆくつもりです。

京都府介護支援専門員協議会は発足してまだ4年目ではありますが、京都府・京都市あるいはその他の関係団体から各種委員会への委員派遣や役員の就任依頼など、オフィシャルな団体としての認知をすでに受けております。このようななか、近い将来において本会の法人化にむけての活動も行わなければならないのではと考えております。

われわれ介護支援専門員にとって多くの問題を抱え、ほとんど介護支援専門員のボランティア的活動によって支えられているとって過言でない現在の介護保険制度ではありますが、ケアマネジメントの専門職として、利用者のためのより良いケアプラン作成への努力は続けていかなければなりませんし、また、将来において、介護保険発足時の介護支援専門員の献身的努力により、世界に誇れる介護保険制度が出来上がったと言えるようになりたいものだと考えております。

今期の会長就任にあたりまして、本会業務の遂行に、会員の皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻宜しく願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

■ 役員紹介 ■

副会長

京都市南ブロック統括
学術・研修部

木村 晴恵



今度、副会長に再任されました。よろしくお願い致します。

当会が設立され、3年半が経過しましたが、この間において「京都府介護支援専門員協議会」の社会的認知が得られ、その役割も重くなってまいりました。

今後も、会員各位の御意見をいただき、より会が発展していくために努力したいと思っております。

京都市北ブロック統括
事業・企画部

清水 紘



今期も副会長として会務の執行に全力をあげて対応させていただきます。今期の私の担当は事業・企画部であります。主として現在京都府で試行中の第三者評価のあり方、次期介護報酬改定に向けて居宅介護支援費評価等を検討し、早急に結論をとりまとめ全国介護支援専門員連絡協議会等を通じて、厚生労働省社会保障審議会介護保険部会に提案させていただく所存です。特に「第三者評価」については、その結果が利用者・事業所双方に満足し納得のいく結果になるような評価システムとすべく誠意努力させていただきますので、よろしくご支援の程お願い致します。

京都府北部ブロック統括
学術・研修部、総務部、事業・企画部

土居 正志



介護保険制度の大幅見直しが目前です。利用者のため

の本来のケアマネジメントができるように、国・府・ブロックや地区・職場のそれぞれのレベルで、私たちの仕事や活動の真価が問われる時期になっています。共に頑張りましょう。

京都府南部ブロック統括
総務部

依田 純三



この度、上原会長を始め理事皆様のご推挙により新たに副会長に就任させて頂きました。京都府医師会の理事として地域医療に4年間関わってまいりました経験を活かして、心の通う介護事業の充実を目指して頑張ります。

理事

中丹ブロック担当
学術・研修部

荒木 義正



京都府介護支援専門員協議会が発足以来、理事として加えていただいておりますが、約3年半の間、理事らしき仕事もせず誠に申し訳なく思っておりますが、本年度も会長上原先生の御指名により理事の末席に就くことになりました。今後は心を入れ替えて理事の名に恥じないよう努力してまいりたいと思っておりますので、何卒宜しくご指導頂けますようお願い致します。

京都市北ブロック担当
学術・研修部

川添チェミ



介護保険制度開始時より更なるケアマネジメントの質の向上が問われている大切な時期です。介護支援専門員が自信を持って力を充分に発揮する事ができるよう皆様と一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

京都市北ブロック担当
事業・企画部

北川 靖



この度、理事再任しました左京区で内科医院を開業しております北川です。医師とケアマネジャーの連携が重要な課題と捉え、取り組んでいきたいと思っております。宜しくご指導、ご協力をお願いいたします。

中部ブロック担当
学術・研修部

北山 重良



介護保険制度も5年目迎え現場では、様々な問題が表面化しています。その第一線で、多くの「やりがい」とそれと同じくらいの「やりきれなさ」を抱えて少しでも利用者のためにと努力している介護支援専門員の一人として「現場の思い」を伝えたいと思います。

事務局次長

吉良 厚子



このたび、事務局次長を拝命いたしました。これまで、編集委員としてお手伝いをさせていただいておりましたが、今後は事務局ということで、微力ながら、より一層の努力をいたす所存でございます。会員の皆様には、何かとご迷惑をおかけすると存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

中部ブロック担当
総務部

久世富美子



このたび微力ながら引き続き理事として会の運営に参加させていただきます。膨大な事務量を抱える現場で、利用者の立場に立った業務が遂行できるよう、会員の皆さんと会の橋渡し役として頑張りたいと思います。

相楽ブロック担当
総務部

兎玉 邦子



はじめまして、私は病院の地域医療部で、兼務でケアマネージャーをしています。多くのケアマネさんと同じく毎日の仕事は定時で終わることなく、毎日遅くまで頑張っています。丁寧で心ある関わりをしようとする、とても50人の利用者に責任を持たず、日々ジレンマで悶々としています。

今回、介護保険事業所の給与の実態を調べ、その低さに愕然とし、そのような実態の上に介護保険事業が運営されていることについても、アクションを起こしていかなければ、と思っています。

一人一人は微力でも、みんなで頑張ればなんとかなる

をモットーに行きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

中丹ブロック担当
事業・企画部

佐藤 裕之



事業所所属に置かれた立場や、義務的に行わなければならない業務、限度額内の給付管理など、真の利用者支援が十分に取れない環境にあると感じています。介護支援専門員の専門性の確立に向けて、微力ではありますが頑張りますのでよろしくお願いいたします。

京都市南ブロック担当
総務部

高江 史彦



会設立以来、理事をさせていただいています。今期から総務部会を担当させていただきます。世間では「介護支援専門員＝ケアマネジャー」と呼ばれていますが、私達が本当の意味で「ケアマネジャー」と成り得るために色々な壁があると思いますが、現場代表者として微力ながら力をつくしたく思います。

丹後ブロック担当
総務部

中村 和美



京都府介護支援専門員協議会の理事を務めさせていただく中村です。現場の声に耳を傾け、ケアマネジャーの苦労や喜びを分かち合い、共に努力していきたいと思っています。来年で看護師歴20年となり、病院ではリスクマネージャーも兼務し忙しい毎日をおくっています。どうぞ宜しくお願いいたします。

南山城ブロック担当
事業・企画部

新田 順子



次々と変っていく制度の中で自分も右往左往しながら、現場で働くケアマネージャーが「頑張れる！」為のお手伝いを今期もさせて頂くことになりました。力不足ではありますがどうぞよろしくお願い致します。

南山城ブロック担当
学術・研修部

弘部 俊彦



京都府歯科医師会よりやって参りました弘部俊彦です。介護事業の根幹を担うこの協議会の仕事に携われることに大変光栄に思うとともに身が引き締まる思いでいます。皆様と共に頑張りますので、宜しくお願い致します。

京都市南ブロック担当
学術・研修部

真辺 一範



京都市在宅介護支援センター連絡協議会を代表し選出されました。支援センターは居宅との2枚看板が多く、今後そのあり方を整理しなければなりません。微力ではありますが介護支援専門員の専門性や資質の向上のために活動できればと思います。

事務局長

宮坂 佳紀



今期も上原会長執行部の末席で事務局として再度お手伝いさせていただくことになりました。ご承知のとおり現在厚生労働省社会保障審議会介護保険部会等では「介護保険制度の見直し」作業を進めており、障害者施策等との統合化、新予防介護サービス等新規サービスに対してケアマネジャーが対応すべき内容が山積しております。同時に、6年に1回に機会に行われる介護報酬と診療報酬の同時改定の影響も気になるところです。今期はいち早くこれらの情報を会員に伝達し、「現場の視点」で課題を拾い上げ、その都度厚生労働省等に提案していきたいと考えております。

京都市南ブロック担当
事業・企画部

村上 淳



当協議会が真の職能団体として組織の強化に努める中において、「利用者のためのケアマネジメント」を行うため、現場から上がってくる要望を実現できるよう、理事の一人として微力ながら努力したいと思います。

乙訓ブロック担当
総務部

山地 岑代



現場の声や要望を協議会活動に反映しながら、今後の介護保険制度見直しや介護報酬改定等、利用者本位の制度となるよう実現に向けて努力すると共に、介護支援専門員の資質・地位向上のため積極的に取組みたいと思います。

監 事

石居 志郎



今期も引き続き監事を務めさせて頂くことになりました。介護支援専門員の地位の確立向上のため各方面で活動している本協議会の運営が円滑に行われるように側面から努力したいと思いますのでよろしくお願いします。

源野 勝敏



当協議会の設立時から監事として関わってきましたが、ケアマネジャーを取り巻く様々な変化の中で、各種の研修事業や相談対応までの取組みを協議会はして来ました。介護保険制度の要であるケアマネに対する期待は大きなものがありますが、制度が成熟して行くためにはケアマネの置かれている環境の改善すべき点も多々あると感じます。益々、協議会の役割は重要になると考えます。

顧 問

油谷 桂朗



2000年11月に設立された本協議会が、年を追う毎に会員数も増加し、活動内容も充実しつつあることは喜ばしい限りであります。これからも利用者本位という、介護保険制度本来の理念が達成されますように、京都府医師会としても全面的に上原執行部を応援して参りたいと考えております。

総会報告

平成16年度京都府総会 介護支援専門員協議会総会

京都府介護支援専門員協議会の平成16年度総会が、6月12日(土)に開催されたのでご報告いたします。

日 時：平成16年6月12日(土) 13:30～

場 所：京都社会福祉会館 ホール

出席者：会員134名席（委任状提出＝646名、会員総数＝1848名）

内 容：

【上原会長より挨拶】

まず3月に開催された第3回近畿介護支援専門員研究大会への多数の会員各位のご協力に謝辞を述べるとともに、全国介護支援専門員連絡協議会の活動を報告。同協議会の会長が厚労省社保審・介護保険部会の委員に就任しており、制度見直し論議に対し、介護支援専門員の代表として意見を述べており、京都府介護支援専門員協議会としても各ブロックとの懇談や相談窓口等を経ていただいた会員個々の意見をまとめて、全国連絡協議会を通じて国に要望していくことを表明した。

【来賓の方々より挨拶】

◆京都府保健福祉部高齢・保険総括室介護保険推進室の衣笠室長

京都府としては、協議会に対して研修事業の委託や相談窓口の設置等協力関係にあり、今後も十分な連携を図りながら、制度の定着を目指したい。

なお、本府が発出した自主点検通知については、その目的が正しく伝わらなかったということであれば、われわれにも至らない点があったとものとしてお詫び申しあげるが、居宅介護支援の運営に関する基準の徹底が目的であったことをご理解願いたい。

◆京都市保健福祉局長寿社会部介護保険課の江口課長

平成15年度から3ヶ所で立ち上げた基幹型在宅介護支援センターを平成16年度には全区へ拡大したいと考えており、また、各種研修会・事業者連絡会などもより充実したものにしていきたいので、協議会や京都府と連携をとりながら、ケアマネジメント活動を支援していきたい。

【議 事】

同封の総会資料をご参照ください。

- ・平成15年度事業報告
- ・平成15年度収支決算報告
- ・役員改選

(新役員を選出)

役員の任期満了に伴い、新会長と新監事は昨秋に選挙で選出されており、理事の選出（会長の指名）が行われた。基本的には前任役員が今期も継続であり、今回新たに役員に就任したのが川添チエミ、吉良厚子、児玉邦子、弘部俊彦、真辺一範、山地岑代、依田純三の各氏。一方、青山静子、竹原賢治、三浦ふたばの各氏が退任された。

副会長は役員の中から互選となっており、前任の木村春恵、清水紘、土居正志各氏に加え、前期は空白になっていた4人目の副会長に依田純三氏が選ばれた。

(事務局体制の強化と執行部の編成を変更)

会員数の増加や、従来の京都府・市のケアプラン指導研修、京都府の相談窓口事業に加え、昨年度から京都府・市からケアマネジメントリーダーの養成研修や活動支援事業の受託に伴う業務量増加に対応するため、新たに事務局次長担当理事を設け、事務局体制を強化した。

また、従来、各役員は研修委員会、編集委員会、組織委員会、評価委員会に分かれて業務遂行にあたっていたが、今期から総務部会、研修部会、事業企画部会に再編成し、より一層会員のニーズに応じた事業運営を行える体制とした。

- ・平成16年度事業計画（案）
- ・平成16年度収支予算（案）

記念 講演

「ICFにたった目標指向的ケアマネジメント」

— リハビリテーションの真の活用を含めて —

(社)日本作業療法士協会理事 中村 茂美 氏

ICFとは「人がいきること」の全体像についての「共通言語」であり、生活機能構造（生活機能モデル）にそって全人間的に利用者の「生きる」ことの全体を考えるとということとチーム内やチームと本人・家族との「共通言語」として活用すること、この二つの点が大きく言われている。……これらのことについて具体的にお話いただきました。

部 会 報 告

第1回 学術・研修部会（平成16年6月28日）

1. 京都府介護支援専門員現任研修（基礎研修課程Ⅱ）について

- ・研修時間が昨年度6時間から今年度15時間と増加。可能な限り現任ケアマネ全員が受講可能となるような内容とし、今年度も委託事業として実施することになった。

2. 京都市ケアプラン指導研修について

- ・京都市からも、昨年度に引き続きケアプラン指導研修を委託事業として実施することになった。

第1回 総務部会（平成16年7月5日）

1. 編集委員会について

- ・これまでの報告と提案（ケアマネ・ポートおよびケアマネ・コム）
- ・編集委員会の構成については、編集委員長・編集副委員長・編集委員4名の計6名で編成する。

2. 組織活動の強化について

- ・ブロック担当事務を決定し、今期のブロック委員の編成方針を決めた。なお、京都府より依頼されているブロック別研修会・リーダー活動等への支援事業については、ケアマネリーダーと協議会役員との懇談会を企画する。

3. 全国介護支援専門員連絡協議会との連携について

4. 京都府介護支援専門員協議会主催による府民向け講座について

- ・開催時期・講座の内容や形式について、今後議論していくことになった。

5. 各関係団体との連携について

- ・継続討議することになった。

6. 京都府より受託の相談事業について

- ・さらに積極的にチラシを配布するなどして広報活動を継続することになった。

第2回 学術・研修部会（平成16年7月13日）

1. 京都府介護支援専門員現任研修（基礎研修課程Ⅱ）について

- ・定員は、居宅200名（北部50名・南部150名）、施設100名（北部50名・南部50名）と決定。
- 内容は、講義について午前中は講師を招いての座学。午後は実践事例発表とそれに対するスーパーバイズ。講義から実践事例発表のスーパービジョンへひとつの流れとすることになった。なお、演習は、昨年同様申込者全員に事例を出してもらい、8人ぐらいのグループで検討する。

2. 独自研修について

- ・継続審議。

3. 市の委託研修事業について

- ・府現任研修の日程が決まったので、市研修についても細部を詰めていくこととする。

4. その他

- ・総務部会決定事項に基づくブロック委員・編集委員推薦のお願い
- ・府民向け講座開催日を平成17年5月21日（土）に決定。

第1回 事業・企画部会（平成16年7月13日）

1. 本部会の業務と目的について

- ・本年度の業務活動方針については、すでに実施されている第三者評価と今後を見越して居宅介護支援事業及び施設ケアマネの評価のあり方、チェックリスト、指標の作成。次期改定に向けて居宅介護支援事業費の評価（アンケート）、自浄作用システムの検討。行政への提言、要望書等とりまとめることになった。

2. 部会メンバーの追加について

- ・検討項目により、随時追加委嘱することになった。

3. 部会での検討事項の確認と追加について

（1）第三者評価事業のあり方について

- ・現在京都府で試行されている評価事業の問題点と課題について
- ・評価事業を受けて良かったというものにするためには
- ・将来の本格実施に向けての課題
- ・本協議会で評価事業所として参画することの是非

（2）全国協議会が各府県協議会にもとめている緊急アンケートについて

（3）次期改定に向けての要望等作成について

（4）他の部会との関連について

おしらせ

『『有料老人ホーム等に関する不当な表示』の運用基準』の公表について

公正取引委員会は、有料老人ホーム等における消費税取引の適正化のため、景品表示法第4条第1項3号の規定に基づき、「有料老人ホーム等に関する不当な表示」について指定を行うとともに、平成16年3月31日に『『有料老人ホーム等に関する不当な表示』の運用基準（案）』を公表し、関係各方面から意見を求め、その意見を検討し、運用基準案に一部修正を加え、『『有料老人ホーム等に関する不当な表示』の運用基準』を策定し、通達した。

→詳細は、ホームページ <http://www.jftc.go.jp>

「痴呆」に替わる用語について

厚生労働省では、『『痴呆』に替わる用語に関する検討会』を設置し、「痴呆」という用語には蔑視的な意味合いが含まれていること等からこれに替わる用語を検討するとともに、併せて、「痴呆」に係る誤解や偏見をなくす一助となることを目的としている。

9月下旬頃、ホームページ等にて意見を募集する予定

→詳細は、厚生労働省ホームページ

京都府におけるケアマネジメントリーダー懇談会について

「各地域のケアマネジメントリーダーにリーダー活動の中での疑問や悩みなどを聞き、回答あるいはアドバイスすることによって、リーダー活動を支援する。」という目的で、京都府北部（丹後・中丹・中部）10月21日、京都市11月16日、京都府南部（乙訓・南山城・相楽）12月21日の3地域で、それぞれケアマネジメントリーダーと協議会役員との懇談会を開催。

→ケアマネジメントリーダーの方々には個別にご連絡させていただきます。

第8回日本健康福祉政策学会学術大会について

- 1 期 日：平成16年12月4日(土)・5日(日)
- 2 会 場：京都府立医科大学合同講義棟（図書館ホール）および看護学学舎
- 3 大 会 長：渡邊 能行（京都府立医科大学地域保健医療疫学）
- 4 プログラム：第1日目 基調講演、ワークショップ、ポスター発表、懇親会
第2日目 特別講演、ワークショップ、シンポジウム
- 5 参 加 費：会員・専門職 2,000円
- 6 昼 食 弁 当：1食(お茶付き) 1,000円

→詳細は、京都府立医科大学医学部看護学科内 TEL・FAX 075-212-5442（岡山）

平成16年度介護支援専門員現任研修（基礎研修課程Ⅱ）開催予定のお知らせ

今年度も京都府より標記の研修事業を受託し、下記日程にて開催を予定しております。
この研修についての詳細につきましては、後日各施設・事業所へご案内させていただきます。

記

- 1 趣 旨：介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として、研修を実施し、必要な知識・技能の習得を図る。
- 2 主 催：京都府
- 3 実施団体：京都府介護支援専門員協議会
- 4 受講対象：府内の居宅介護支援事業所又は介護3施設において、介護支援専門員として実務に従事していて、就業後6ヶ月以上2年未満の方で、かつ、2日間とも出席可能な方。
- 5 日 程：

	期 日	内 容	会 場	定 員
南 部	平成16年11月11日(木)	講 義	みやこメッセ	200名
	平成16年11月24日(水)〈南北合同〉	施設演習	ぱるるプラザ	50名
	平成16年12月14日(火)	居宅演習	ぱるるプラザ	150名
	平成16年11月19日(金)	講 義	舞鶴勤労者福祉会館	100名
北 部	平成16年11月24日(木)〈南北合同〉	施設演習	ぱるるプラザ	50名
	平成16年12月17日(金)	居宅演習	舞鶴勤労者福祉会館	50名

編 集 後 記

大文字の送り火も終わったにもかかわらず、依然残暑が続く毎日です。予定発行日を大幅に遅れましたが、ケアマネ・ポート18号をお届けいたします。発行までの間には、厚生労働省の「介護保険制度見直しに関する考え方」が公表されました。その内容をみると、ケアマネジャーの資格更新制の導入、新介護予防システム導入、障害者施策との統合化、ケアマネジメントシステムの見直し等われわれの日常活動が大きく変革するような制度改定になりそうです。今後とも、新しい情報を正確に会員各位に伝えることに主眼をおきながら、新編集委員メンバーと事務局が一丸となってとりくんでいく所存であります。

今後とも、よろしくお願いいたします。なお、会員からの投稿も歓迎しておりますので、併せてお願いいたします。

(事務局長：宮坂 佳紀)

■ 事 務 局 よ り ■

総会報告にもありますように、事務局体制が強化されました。また、今まで話中が多くお叱りを頂いておりましたが、このたび、電話回線を増やしました。今後は、会員の皆様からの質問やご相談をスムーズにお受けできるのではないかと考えております。

今年度も研修会や懇談会等、企画いたしております。一人でも多くの会員の皆様にご参加いただけるようにいたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

京都ケアマネ・ポート「18号」

発 行 人
編集委員長
編集副委員長
編 集 委 員
発 行 元

2004年8月31日 発行

上 原 春 男

高 江 史 彦

宮 坂 佳 紀 吉 良 厚 子

上 坂 久 乃 片 山 直 紀 小 林 啓 治 村 上 成 美

京都府介護支援専門員協議会

〔連絡先〕

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375

府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）7F

TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971

E-mail : kyotocaremane@aol.com